

|   |    |               |             |
|---|----|---------------|-------------|
| <b>滋賀県における醸造用ブドウ専用品種の垣根仕立て栽培に適したせん定技術</b>   |    |               |             |
| <b>【要約】</b> 醸造用ブドウ専用品種の垣根仕立て栽培において、短梢せん定（コルドン）は、長梢せん定（ギョ・ダブル）より果実品質に優れ、新梢管理に要する作業時間も短くなる。但し、収量は、品種によって優れるせん定方法が異なる。 |    |               |             |
| 農業技術振興センター・花・果樹研究部・果樹係  |    | <b>【実施期間】</b> | 令和元年度～令和5年度 |
| <b>【部会】</b>   | 農産 | <b>【分野】</b>   | 競争力の強化      |
|   |    | <b>【予算区分】</b> | 県単          |
|   |    | <b>【成果分類】</b> | 指導          |

### 【背景・ねらい】

本県における醸造用ブドウ栽培は極わずかで、その多くは生食用として販売している‘マスカット・ベリーA’の一部を赤ワイン用として、‘デラウエア’への一部を白ワイン用として、それぞれ出荷している。一方で、実需者（ワイナリー）からは、ワインの商品表示ルールの変更に伴い、県内産醸造用ブドウの増産が求められている。また、生産者からは、省力的に栽培可能な垣根仕立ては、生食用品種で一般的に栽培されている平棚仕立てよりも初期投資額が少ないことから、導入の期待がある。

醸造用ブドウ専用品種は、他都道府県では育成が進められており、海外品種も含めて多数栽培されているが、本県の気候等に適した醸造用ブドウ専用品種は明らかでなく、垣根仕立て栽培も、本県での栽培事例がほとんどない。

そこで、実需者ニーズに迅速に対応するため、醸造用ブドウ専用品種の垣根仕立て栽培において、本県に適するせん定方法を明らかにする。

### 【成果の内容・特徴】

- ① 生育は、全ての品種で短梢せん定が長梢せん定に比べて、やや早い（表1）。
- ② 満開から収穫期までの新梢管理に要する作業時間は、短梢せん定が長梢せん定に比べて短い。長梢せん定は、新梢の摘心後に発生する副梢が多い傾向にある（表1）。
- ③ 果実品質について、糖度は短梢せん定が長梢せん定に比べて同等以上である（図1）。
- ④ 収量は、品種によって、優れるせん定方法が異なる（図1）。

### 【成果の活用面・留意点】

- ① 本試験は、1年間ポットで育成した後、2019年3月に試験ほ場に定植し、列間2.5m、主枝高80～100cmの垣根仕立てにより栽培した醸造用ブドウ品種（赤ワイン用：‘ビジュノワール’、‘ヤマソービニオン’、‘マスカット・ベリーA’、白ワイン用：‘モンドブリエ’、‘シャルドネ’、‘デラウエア’）を用いた結果である。
- ② 果房部分を第一誘引線に新梢誘引後（6月上旬頃）から収穫期まで雨除け被覆したうえで、病害に対する農薬防除は、休眠期（3月）から収穫期（10月上旬）までに11～12回/年（うち5～6回は無機銅剤）行った結果である。
- ③ 短梢せん定は、主幹部から2本の主枝を左右にとり、芽座を配置する整枝方法である。長梢せん定は、2本の主枝を主幹部から左右に配置する整枝方法である（図2）。

## [具体的データ]

表 生育の特性(2022年)および新梢管理に要する作業時間(2021年, 2022年)

表1 生育の特性(2022年)および新梢管理に要する作業時間(2021年, 2022年)

| 品種名       | 区        | 発芽期 <sup>z</sup> | 開花盛期 <sup>y</sup> | 果粒軟化期 <sup>x</sup> | 着色開始期 <sup>w</sup> | 収穫期   | 新梢管理に要する作業時間 <sup>v</sup> (h/10a) |      |      |
|-----------|----------|------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------|-----------------------------------|------|------|
|           |          |                  |                   |                    |                    |       | 2021                              | 2022 |      |
| 赤ワイン用     | ビジュノワール  | 短梢               | 4月12日             | 5月30日              | 7月26日              | 8月1日  | 8月24日                             | 36.2 | 23.7 |
|           |          | 長梢               | 4月13日             | 5月31日              | 8月5日               | 8月8日  | 8月28日                             | 66.7 | 44.3 |
|           | ヤマソービニオン | 短梢               | 4月4日              | 5月16日              | 7月22日              | 7月25日 | 9月26日                             | 20.3 | 28.1 |
|           |          | 長梢               | 4月7日              | 5月18日              | 7月25日              | 7月29日 | 9月26日                             | 38.2 | 41.1 |
| マスカットベリーA | 短梢       | 4月10日            | 5月31日             | 8月8日               | 8月12日              | 9月28日 | 18.3                              | 26.6 |      |
|           | 長梢       | 4月10日            | 5月31日             | 8月12日              | 8月16日              | 9月28日 | 35.0                              | 33.1 |      |
| 白ワイン用     | モンドブリエ   | 短梢               | 4月9日              | 5月26日              | 7月21日              | -     | 8月29日                             | 40.8 | 29.6 |
|           |          | 長梢               | 4月9日              | 5月27日              | 7月22日              | -     | 9月14日                             | 83.0 | 54.1 |
|           | シャルドネ    | 短梢               | 4月9日              | 5月26日              | 7月27日              | -     | 8月30日                             | 26.1 | 22.1 |
|           |          | 長梢               | 4月11日             | 5月27日              | 8月1日               | -     | 10月3日                             | 54.0 | 31.2 |
| デラウェア     | 短梢       | 4月11日            | 5月23日             | 7月23日              | 7月28日              | 8月19日 | 46.3                              | 57.6 |      |
|           | 長梢       | 4月11日            | 5月23日             | 7月26日              | 8月3日               | 8月23日 | 102.3                             | 77.8 |      |

z: 全体の50%発芽した日.  
 y: 80%以上開花した花穂が80%以上になった日.  
 x: 全果粒のうち50%の果粒が軟化した果房が50%になった日.  
 w: 全果粒のうち50%の果粒が着色した果房が50%になった日.  
 v: 収穫期までに新梢管理に要した作業時間(芽かき除く).

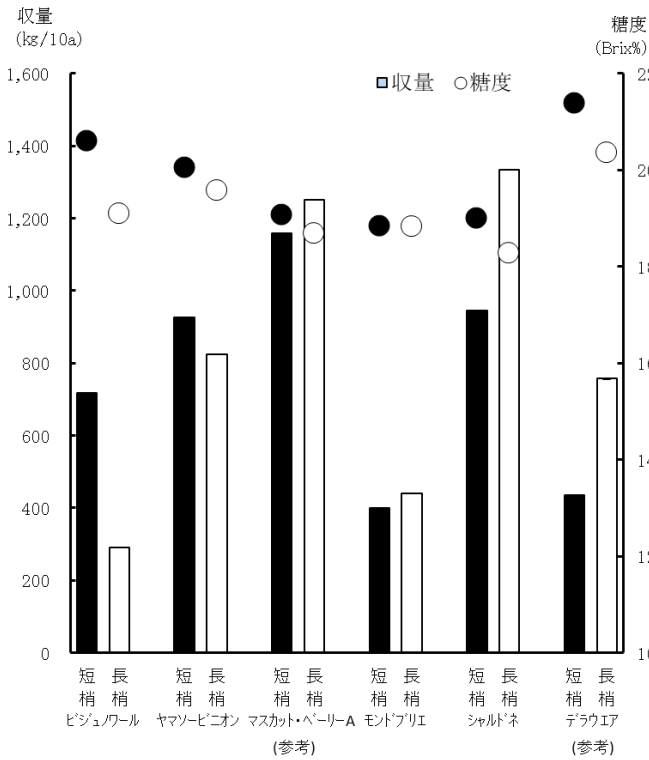


図1 各品種のせん定方法における収量と果実品質 (2022年)

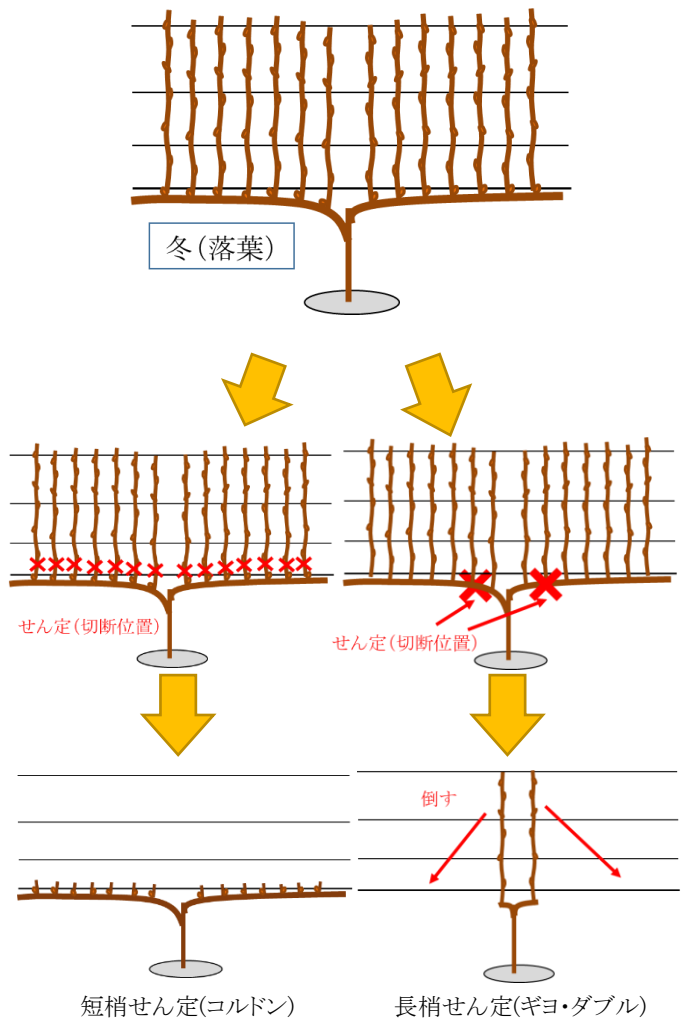


図2 せん定方法

## [その他]

### ・研究課題名

大課題名：経済活動としての農業・水産業の競争力を高める研究

中課題名：需要への変化への対応と農地・農業技術等の実証

小課題名：新たな需要に対応した醸造用ブドウ栽培技術の開発

### ・研究担当者名：三溝 啓太 (R1～R5)

### ・その他特記事項：技術的要請課題：東近江農業農村振興事務所 (H29)